

裏磐梯・松原湖の
雄大な景色と遊ぶ
体験をサポーター。



まつぎ こうだい

松崎 廣大 さん(20代)

<北塩原村>

キャンプ場経営
(家業)

2022年 Uターン

松原湖畔のキャンプ場へUターン

『北塩原村の湖が点在するエリア、通称:裏磐梯(以下、裏磐梯)は1888年の磐梯山の大噴火で形成された景勝地です。大小300もの神秘的な湖沼群があり、磐梯朝日国立公園になっています。一番大きな湖が松原湖。ブラックバス釣りのメッカであり、カヌーやサップ、キャンプ場などアウトドアの人気スポットであり、最近では氷結した湖上でするワカサギ釣りが女性にも人気となっています。』

千葉県に就職していた松崎さんが裏磐梯に移ったきっかけ、子どもの頃から見ていた裏磐梯の魅力、今の仕事などを「森のうた」にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年11月25日

裏磐梯への移住と家業のこと

<移住のきっかけ>

三人兄弟の真ん中で育ちました。兄はどちらかというインドア派で、中学校の頃から私が家業を継ぎたいと思っていました。両親には子どもの頃から「一度は外を見てきなさい」と言われていて、千葉県で自衛隊の仕事に就きました。2年目の任期が満了になる時に裏磐梯へ移ろうと決めて2022年4月にUターンしました。

<裏磐梯での仕事>

子どもの頃から家業の手伝いはしていたのですが、実際に働いてみると仕事の幅の広さに驚きました。お客様が来る前の準備、片付けに加え、書類の手続きや想定外の対応など、本当に忙しいです。そして思っていた以上に休みがない(笑)

あと、家族経営なので小さなめ事がよく起こります。これは一般の会社にはない頻度だと思います。両親に外の仕事を見て来い、と言われた理由が今ではよく分かります。実家を離れて家業以外の仕事をしたことでのいろいろな学びがあり、今は良かったと思っています。

接客は楽しいですね。

自分からガンガンいくタイプではないのですが、お話しするのは好きです。うちに来るお客様は皆さんプライベートです。中には仲良くなって仕事の話を聞いたらスゴイ会社の役員さんだったということもあります。そんな方



でもプライベートだから普通に話ができるんだと思うと楽しい仕事です。

最近ではリモートで仕事をしながらキャンプをしている方もいます。お子さんはスマホも触らず楽しそうに体を使って遊んでいます。そういう日常から少し離れた体験をここでしてもらえるのは、私にとって嬉しいですね。体を動かすのが好きなので、この仕事は私に合っていると思います。

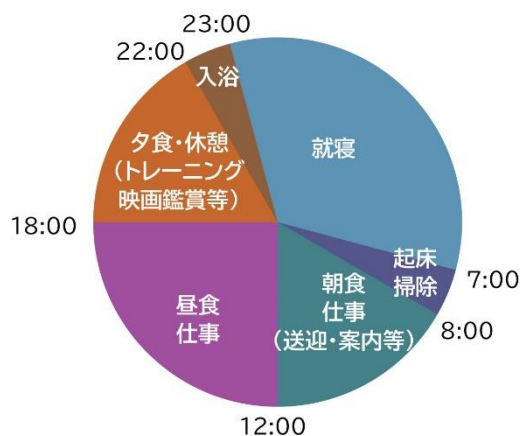
<裏磐梯での生活>

裏磐梯は標高が高く夏は避暑地になるほど過ごしやすいです。反面、冬は雪が多く大きな桧原湖が凍るほど気温は下がります。ただ、積雪があっても除雪車が早くから動くので朝にはほとんどの道路がキレイになっています。冬でもスキー場のお客様が多く泊まっているので、その点でも雪道対策は抜群で他の地域より除雪は上手だと思います。買い物は裏磐梯にコンビニはあるのですがスーパーがないので猪苗代町まで行きます。病院や公共交通機関の利用も猪苗代町が中心となります。



磐梯山が一望できる桧原湖畔のキャンプ場

ある一日のスケジュール



<裏磐梯の魅力>

私は体を動かすのが好きなので、最近ではロードバイクやランニングをしています。裏磐梯の景色の中を走ることができるのはとても贅沢だと思います。四季がはっきりしているので、いつも同じ景色がありません。

裏磐梯への移住ですが、ペンションやホテル勤務など昔から移住者が多いエリアなので、受け入れ態勢が出来ていると思います。私の同級生もほぼ他県からの移住の子でしたが、みんな仲が良かったです。

裏磐梯に移って感じたのはビジネスチャンスが多い地域だな、と。知り合いの何でも屋のようなところでバイトをしたことがあったのですが、蜂の巣の駆除から家の片づけまで何でも仕事になるんです。地元の人が困っていることが仕事になるって、場所を選ばないビジネスだと気づきスゴイなと思いました。

家業も実際に働いてみて、やることが多いと分かったのと、お客様の要望がいろいろ聞けて、昔より見方が変わったと思います。

裏磐梯の可能性ってまだまだあると思うのです。若者向けの新規事業もやってみたいと思いますね。家業もアクティビティを増やして、キャンプ場も大きくしていきたいです。どんどん新しいことにチャレンジして、うちが盛り上がりいけば裏磐梯全体が盛り上がっていくのではないかと考えています。

今までも移住者が活躍してきた裏磐梯ですから、新しいことにチャレンジしやすい環境だと思います。

松崎さんの行動歴

北塩原村(裏磐梯)生まれ ⇒ 千葉県(就職) ⇒ 北塩原村(裏磐梯)へ

移住を検討している方にアドバイス

自然に左右される地域です。
雪かきする覚悟は必要です。



森のうたの入り口。冬はワカサギ釣り客でいっぱい

北塩原村について

令和4年4月1日現在

現住人口 2,535人 男性/1,275人 女性/1,260人

面積 234.08平方キロメートル

標高 海拔 298.1m(北塩原村役場)

最寄駅 JR磐越西線「喜多方駅」

最寄IC 磐越自動車道「磐梯河東IC」

保・幼・こ 認可保育所 1か所 幼稚園 2園

小学校数 公立 2校

中学校数 公立 2校

高校数 なし(周辺の市町にあり)

病院数 診療所 2か所

村の特徴 北塩原村は、会津地方の北に位置し、南に磐梯山、北東に西吾妻山と2つの日本百名山がある。桧原湖・五色沼をはじめとする大小300余りの湖沼群を有する裏磐梯エリアは、磐梯朝日国立公園に指定されており、夏には登山、冬にはスキーと、年中さまざまな観光客が訪れる。また、桧原湖は、冬場は凍結した湖上でワカサギ釣り、夏場はバスフィッシングなどで賑わっている。

**移住
サポート
窓口**

北塩原村役場(総務企画課)
北塩原村移住ポータルきたしおばらぐらし <https://kitashiobara-ijyu.net/>
電話:0241-23-3112
メール:kikaku01@vill.kitashiobara.fukushima.jp

